

※目標値、県平均との比較を＋で表しています。同程度は±

目標値比 県比

国 語	教科全体正答率		－	－
	知識正答率		－	－
	活用正答率		－	－
	観点別正答率	知識・技能	－	－
		思考・判断・表現	－	－
		主体的に学習に取り組む態度	－	－

【国語科の分析結果と改善のポイント】

- ◇既習事項の定着が不十分と考えられる。
 - チャレンジタイムを活用して、主語・述語を含めた問題を補充学習させる。
 - 説明文の学習では、要旨をまとめ、段落の繋がりを問う場を授業中に設定する。
 - 条件（字数・キーワード・段落構成）を与えて書く練習を、家庭学習や補充学習でさせる

目標値比 県比

算 数	教科全体正答率		＋	－
	知識正答率		＋	±
	活用正答率		－	－
	観点別正答率	知識・技能	＋	－
		思考・判断・表現	－	－
		主体的に学習に取り組む態度	＋	－

【算数科の分析結果と改善のポイント】

- ◇授業で量感を身につける活動を設ける。
 - 「見通し」でおよその数で考えさせ、およその答えを予想させる。また、ものの面積や長さ（距離）などを択一的に尋ねる場面を作る。
- ◇式や自分の考え方を説明させる際、教科書にあるものをもとにして、説明のパターンを練習させる。

目標値比 県比

理 科	教科全体正答率		－	－
	知識正答率		＋	＋
	活用正答率		－	－
	観点別正答率	知識・技能	＋	＋
		思考・判断・表現	－	－
		主体的に学習に取り組む態度	－	－

【理科の分析結果と改善のポイント】

- ◇一時間の授業を、「課題」→「予想」→「仮説」→「実験」→「考察」→「結論」の流れで行い、分かったことを絵や図を使って考察させる。
- ◇単元の最後に設定されている活動（「理科のたまてばこ」）を丁寧に扱い、日常の事象を身についたことと結びつけて考えさせたり説明させたりする。

【児童質問紙より（分析結果と改善策）】

〔自己認識〕

- 友だちや先生の支えを受け、愛されていると感じている。
 - 毎日「よいところみつけ」をしている成果であるにとらえている。
- △今までに心から感動した体験が少ない。
 - 人や動物とのふれあい活動を定期的に行う予定にしている。

〔社会性〕

- 話を最後まで聞くことや、自分が悪かった時は素直に謝ることができる。
 - 友達と仲直りすると気持ちがよいことを知っている。
- △話し合いや意見が合わなかった時、みんなが納得する方法を考え提案する人が少ない。
 - その都度個別に話し合いをし、学級全体で行うレクレーション等を児童に計画させる。